

「生命のがん教育」を実施しました

(令和元年度3学期分)

令和元年度3学期は13校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(宇治田原町立田原小学校)



(舞鶴市立池内小学校)

◎小学校 (9校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
1月10日	相楽東部広域連合立和東小学校	5年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
1月15日	亀岡市立詳徳小学校	6年	三菱京都病院 院長補佐 吉岡 亮
1月28日	宇治田原町立田原小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
2月4日	綾部市立志賀小学校	6年	綾部市立病院 消化器内科 島川 祐典
2月4日	向日市立第4 向陽小学校	6年	済生会京都府病院 副院長 堀 義幸
2月14日	舞鶴市立池内小学校	5,6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
2月14日	舞鶴市立大浦小学校	5年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
2月20日	宇治田原町立宇治田原小学校	6年	宇治徳洲会病院 放射線治療科 部長 立入 誠司
2月26日	井手町立多賀小学校	5年	京都山城総合医療センター がん診療部長 小池 浩志

<児童の感想>

- ◇ ぼくは「がん」については何も知らなかったので、いろいろ勉強になりました。中でも細胞からがん細胞になり、早期がんになり、進行がんになるというのがとてもびっくりしました。しっかりと、家族にこのことを伝えたいなと思いました。
- ◇ 自分はまだ子どもだから関係がないと思っていたけれど、もしかしたらがんウィルスをもっているかもしれないし、今から対策できることがたくさんあると知れました。他人事ではなく、自分の事だと考えていきたい。
- ◇ 分かりにくいところは例などを使って説明してくれて分かりやすかったです。「がん」は2人に1人になるということが分かったので気をつけようと思いました。

◎中学校（3校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
1月28日	八幡市立男山第三中学校	2年	京都岡本記念病院 消化器内科部長 河端 秀明
2月21日	宇治市立東宇治中学校	3年	医仁会 武田総合病院 外科 顧問 加藤 仁司
2月25日	宇治田原町立維孝館中学校	2年	京都岡本記念病院 消化器内科部長 河端 秀明

<生徒の感想>

- ◇ 「がん」について、一度調べたことがあったので、知っていることばかりだろうと思っていたけど、まだまだ知らないことがいっぱいあって、ためになりました。
- ◇ 「がん」って言葉を聞いたことはあるけど、実際に「がん」はこんな病気だよと教えられなかったので、くわしく知れたのでよかったです。
- ◇ 「生命のがん教育」の授業をするまでは、“がん”がどれほどのリスクがあって、どうすれば予防することができるとか明確に分からなかったけど、そこがしっかりと分かったので良かったと思う。

◎高等学校（1校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
2月19日	京都府立須知高等学校	3年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹

<生徒の感想>

◇ 私はこれから看護師、保健師の資格取得のため勉強して、将来多くの人を笑顔にできるようにがんばりたいと思っています。お医者さんのように、けがや病気を直接治すことはできませんが、患者さんの心の傷をしっかりとケアできるようにさらにがんばろうと強く決意することができました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp